

2017.4.19

ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構

第1回セミナー

環境省がすすめる温泉地の にぎわいの創出について

環境省自然環境局自然環境整備課

温泉地保護利用推進室

楠本 浩史

温泉とは「 」である。



～温泉とは～

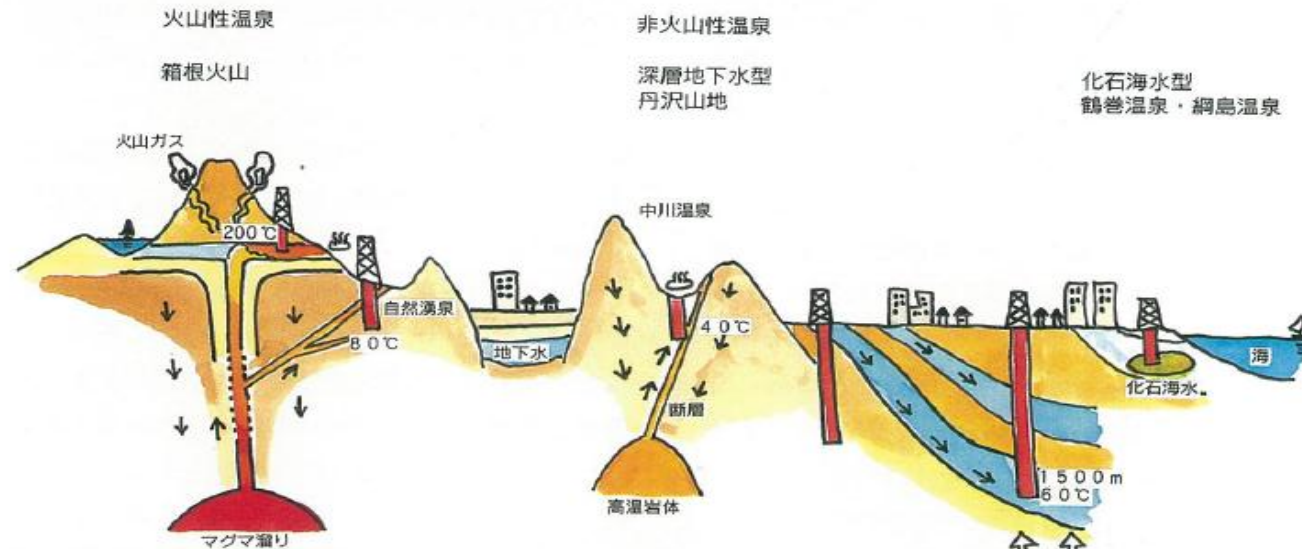


図 1-7 温泉の湧出形態 (2003 年, 大山正雄原図)

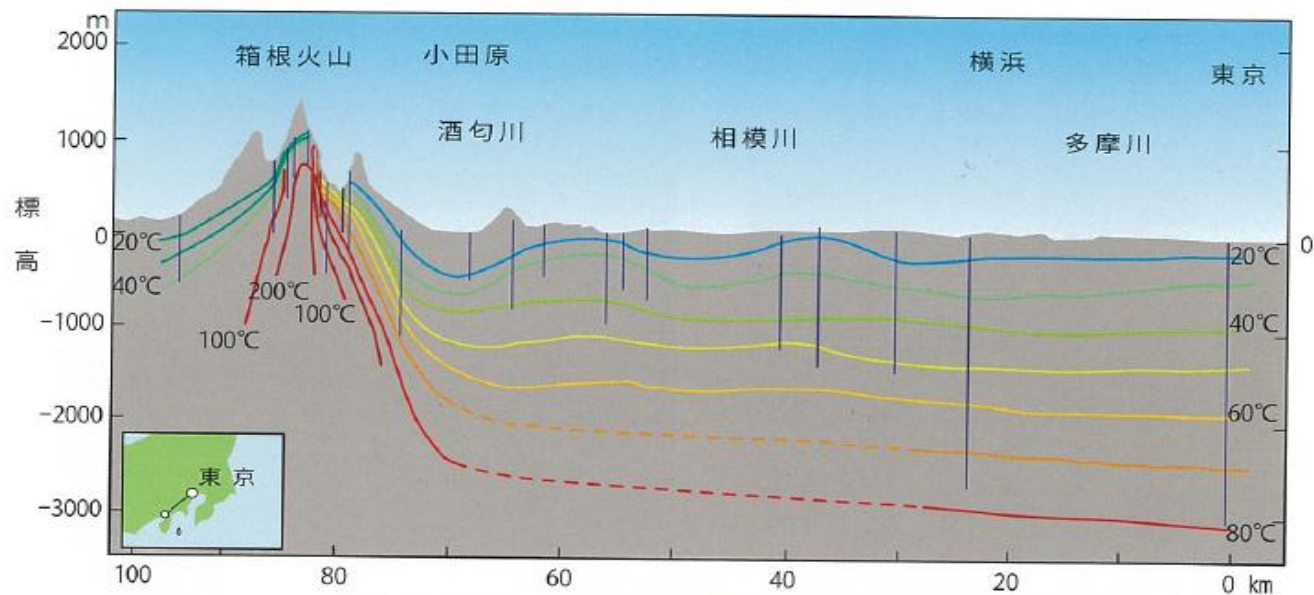


図 1-8 関東南西部の地下の温度構造 (1998 年, 大山正雄原図)

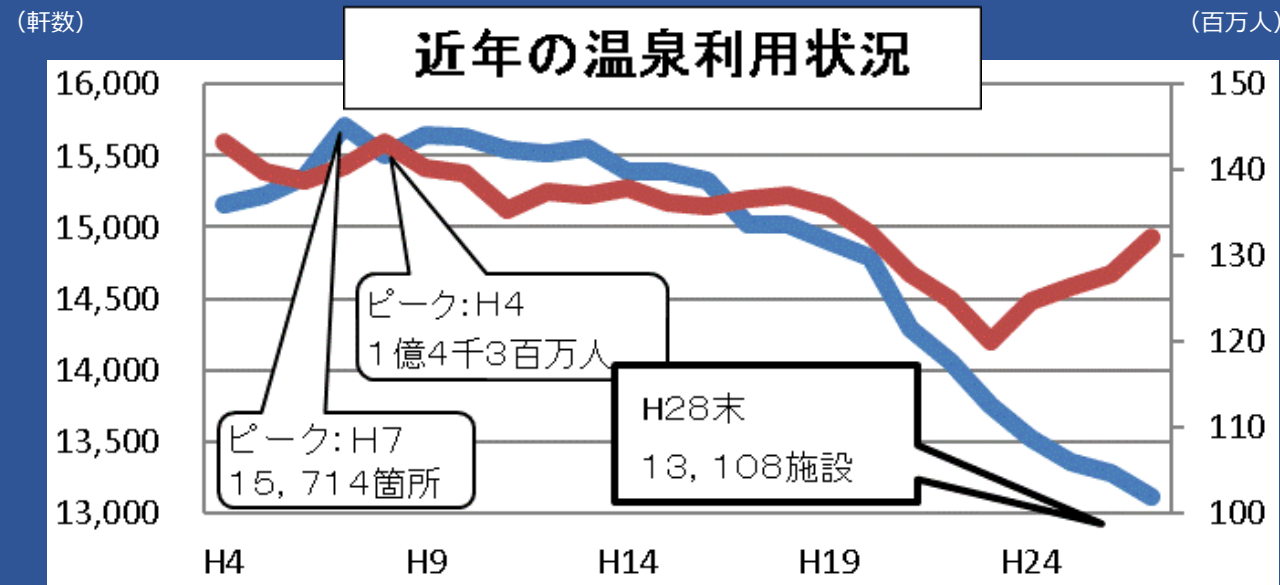
○温泉の泉質は

- ・水の性質
 - ・地下の温度
 - ・水が通ってくる地質構造
 - ・過去の地殻変動 等
- によって左右される。

○温泉は、過去に降った天水（雨）が数年～数百年の時を経てわき出る「大地の恵み」

○有馬温泉などは、50万年前のプレート層からわき出る水といわれている。

温泉地をめぐる現状



環境省 温泉利用状況者数調査

種類別稼働率

	全体	旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティホテル
平成19年					
平成20年					
平成21年	59.7	49.4	53.3	67.2	71.1
平成22年	64.0	52.9	52.6	68.3	75.7
平成23年	51.8	34.7	46.8	62.3	67.1
平成24年	54.8	35.5	48.0	67.3	72.5
平成25年	55.2	33.4	52.3	69.5	75.7
平成26年	57.4	35.2	54.0	72.1	77.3
平成27年	60.3	37.0	56.0	74.2	79.2

観光庁 宿泊統計調査 (H27)

○温泉旅館等の数や宿泊者数はともに減少傾向

・年度延べ宿泊利用人員：1億4,300万人 (H4)

↓
1億3,200万人

(H28)

・宿泊施設数：

15,714施設 (H7)

↓
13,108施設 (H28)

※旅館施設数自体は、平成元年の約8万軒から約4万軒まで半減。ホテルは微増 (約1万軒)

○一方で温泉利用者は横ばい

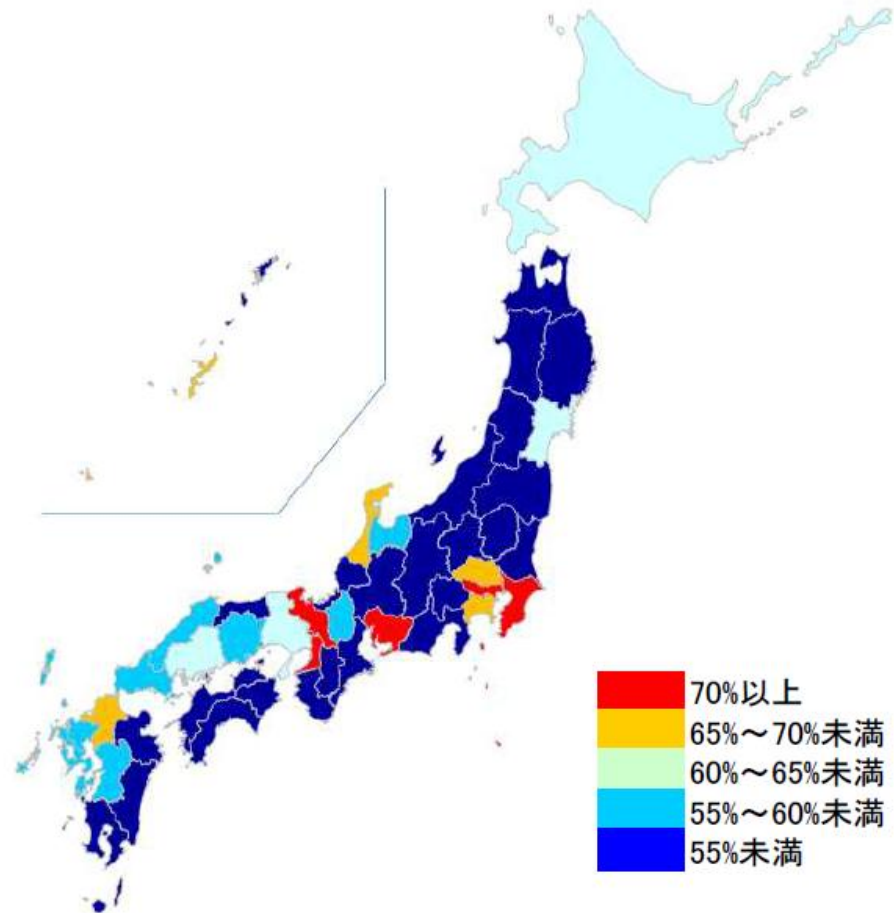
※入湯税収が220億円程度で推移

※温泉利用浴場数は約7,800カ所程度で推移

○特に旅館は稼働率が減少傾向

温泉地をめぐる現状

—都道府県別客室稼働率(平成27年1月～12月(確定値))—



観光庁 宿泊統計調査 (H27)

- ゴールデン・ルート、北海道、沖縄、3大都市圏以外の稼働率が低い
- 重要なことは、多くの人々が地域を訪れ、宿泊をすること。

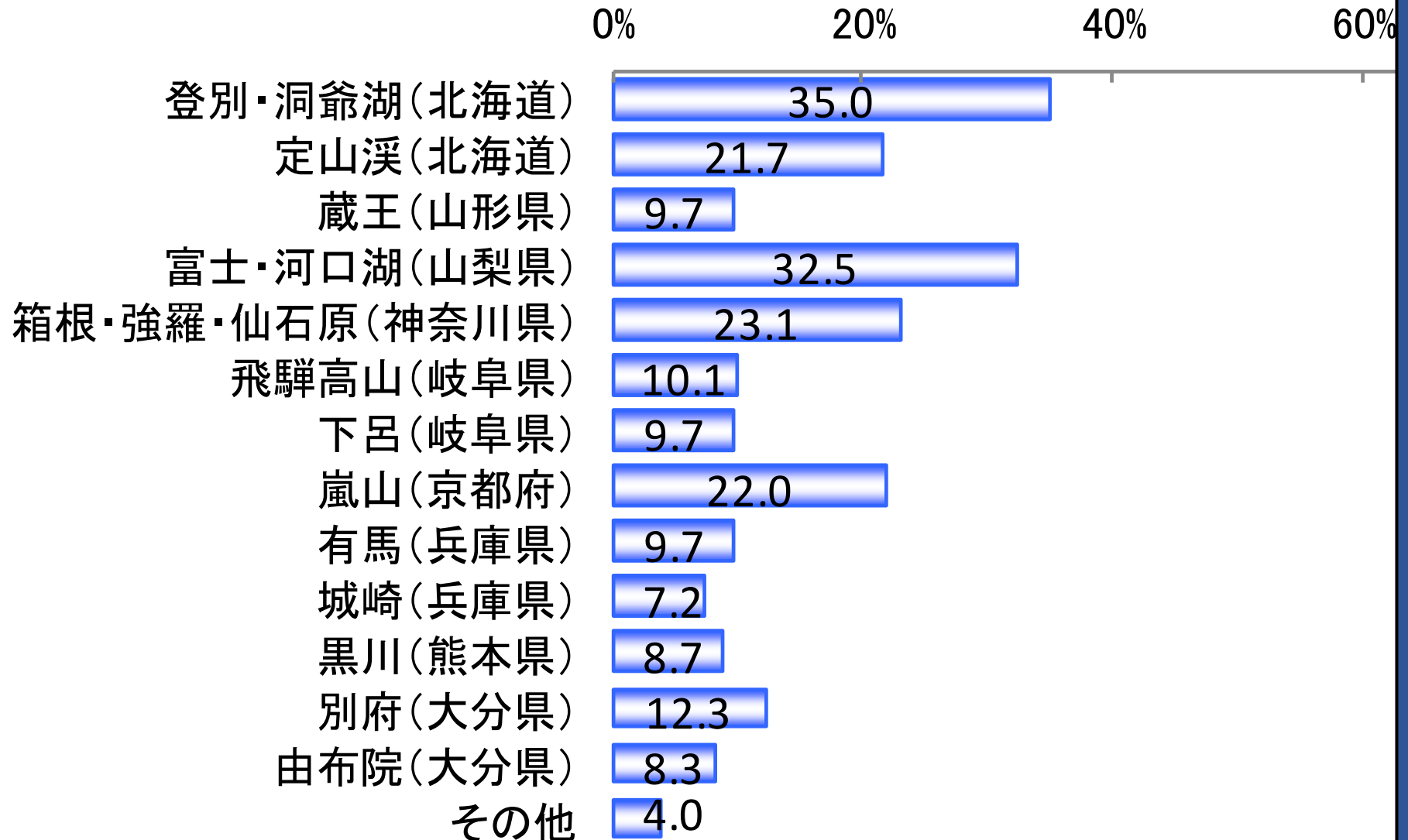
※ 国内宿泊旅行の場合の平均単価：
約48,000円

・ 国内日帰り旅行の平均単価：
約15,000円

(観光庁2013年観光・旅行消費動向調査より)



外国人の来訪温泉地



※中、韓、台、米（50人ずつ）、香港、タイ、豪、仏（30人ずつ）を対象。※2016年調べ 環境省調べ

人気温泉地の変遷

順位	S62	H5	H27
1	和倉	古牧	草津
2	雲仙	和倉	由布院
3	指宿	山代	下呂
4	登別	道後	別府
5	玉造	雲仙	有馬
6	別府	秋保	登別
7	温海	鬼怒川・川治	黒川
8	山代	指宿	指宿
9	三朝	上ノ山	道後
10	鬼怒川	下呂	城崎

観光経済新聞社 につぽんの温泉100選より

○宿泊は重要だが、それでは単なる「宿泊施設」の魅力であり、これまでのツーリズムと変わらない。



○温泉街に「にぎわい」があり、多様な私たちの「にぎわい」を楽しむことが旅行者から求められている

魅力ある温泉地づくり

- 国立公園満喫プロジェクト
→湯治文化、廃屋の撤去、ロングトレイルの整備、上質な空間の提供、ONSEN・ガストロノミーツーリズムの推進
- 温泉熱を活かしたまちづくりへの支援
- 国民保養温泉地の新規の指定

温泉地に観光客が訪れる仕組みづくり

<産・官・民のネットワークづくり>

- 全国温泉地サミットの開催

<先進的モデル事業の推進>

- クアオルトなど「健康づくりと温泉」をテーマにした活動
- 上田市・理学療法士協会との協定
- 「（一社）ONSEN・ガストロノミーツーリズム」への協力

温泉と自然・文化等の体感の機会を増やすことを通じて国民の保健休養に資するとともに、多くの人を訪れ長く滞在する温泉地づくりを実現することが目的

十和田八幡平国立公園 満喫プロジェクト

みちのくの脊梁

～原生林が彩る静謐の湖水、息づく火山と奥山の湯治場

〔訪遊目標〕～ 外国人利用者数 2015年の3倍(2020年)～
7千人 → 2.1万人

特徴①

歩いて楽しむ四季の移ろい

山岳を縦走する本格的な登山道から、日帰りでも楽しめる登山道まで、原生自然を堪能する多彩な登山道を整備

- 青森山バイパス整備にあわせて順次マイカー規制を導入し、奥入瀬渓流を静かに堪能
 - ロングトレイル等の多彩な登山道の整備
 - 登山道の標識の統一、多言語化
 - 十和田信託を体感するガイド付き限定歩道の新設
- ※上記についてはすべてH28より着手

特徴②

長期滞在で温泉・湯治文化を満喫

活発な火山現象を背景とした良好な泉質に恵まれた個性豊かな温泉や旅館で、昔ながらの建のある温泉文化を楽しむ

- 外国人旅行者の受入体制の強化
- REVIC®の支援による玉川温泉の再生と連携した魅力向上 (H28より着手)



玉川温泉 復興・老舗旅館

特徴③

国立公園一等地の上質な滞在空間への再生

廃屋などの景観を阻害する施設を撤去する“引き算”の景観改善により、広大な原生林と湖、なだらかな火山群などの世界に誇る傑出した風景を損なわない、魅力的な利用拠点にリニューアル

- 休屋休平地区の廃屋を撤去し、地区全体を総合的に再整備 (H28年度より着手)
- 見返峠の廃屋を撤去し、八幡平登山の入口に相応しいための総合的な再整備 (H28年度より着手)
- 四季を通じて楽しめるよう冬のアクティビティの充実

ビューポイント



十和田、小坂IC 八幡平、十和田IC 八幡平

国立公園区域
ビューポイント
アクセスルート

温泉地のにぎわいの創出～健康づくりと温泉～



山中温泉の風景

- 温泉の効能は「環境省の通知」が国の基準
- 効能を活かすには、温泉に入る・飲むだけではなく、「転地療養」という考えが重要
- 元来、湯治は「7日で1巡り」といわれていた。
- 温泉は古くは奈良時代から「健康づくりの場」としてあがめられていた。



鶴の湯温泉

「妙高型健康保養地プログラム」の推進

★「国立公園の豊かな自然」と「豊富な温泉」を活用したプログラム

気候療法

+

温泉療法

=

妙高型
健康保養地プログラム



気候療法ウォーキング

気圧が低く、運動強度が上がる
準高地でのウォーキング

温泉プールでの水中運動

温泉の効能に加え、水中運動と組み合わせて
実施することで効果アップ



★プログラムの一層の推進に向けて

●対象者の状況や
ニーズに応じたプロ
グラムの確立と指導
者の育成・確保



●宿泊施設などの民間事業者が主体となっ
たヘルスツーリズムの受入体制の構築



●拠点施設の整備「妙高高原体育館」H29年4月オープン



直径18.6m・水
深1.1mの専用
プールを完備。
通年で温泉療法
プログラムの実
施が可能



妙高市資料
より

温泉地のにぎわいの創出～健康づくりと温泉～

地方創生

大分県
竹田市

温泉療養保健制度の提案 予防・健康づくりと観光振興



【理 念】

- 温泉に加えて、地域資源である「自然環境・歴史・文化」などを生かし、健康づくりや予防医療の仕組みを整える。
- 同時に中長期の滞在プログラムを提供し、雇用の創出、観光誘客を推進する。
- 広域連携や長期滞在により移住・定住をすすめ経済の浮揚に寄与する。

温泉治療保健制度の実践



平成23年度から本市独自の施策として自然治癒力（免疫力の増強）と長期滞在型観光の振興を目的。

- 財 源 入湯税を原資として活用
- 内 容 宿泊3泊以上又は立寄り入浴施設利用者に対し3種類の保健給付

⇒ 平均滞在 **5.3 泊**

観光復興に寄与する地域経済効果

大阪観光大学観光学部による地域経済への影響調査

⇒ **3,461万円**波及効果（投資額の**20倍**）

国民保養温泉地の市内全域での指定

今まで長湯温泉しか指定をされていなかった

国民保養温泉地を市内全域に拡大。（5月1日）

産学官連携による飲泉エビデンス調査

- 日本健康開発財団と慶應義塾大学先端生命科学研究所との連携（第1次7月10日研究結果発表、その後マウスの実証実験等）
- 長湯温泉の飲泉エビデンス調査の実施
- 長湯温泉の入浴モニター調査の実施

炭酸泉タブレットの商品開発

温泉治療を補完可能な、家庭用温泉入浴剤の開発



コニカミノルタ（株）の写真技術を生かした企業の進出。
温泉地と組み合わせて家庭で活用できる温泉効果同等の入浴剤（タブレット）の商品開発。

温泉力を有する温泉地との協力協定

北海道豊富町（豊富温泉）と秋田県仙北市（玉川温泉）、竹田市（長湯温泉）を有する自治体間の協定締結。

温泉力を**予防医療・療養・プロモーション**に利用

バーデン倶楽部は、斎藤ホテルご宿泊の方なら、どなたでもご利用いただけます！
寒い季節こそ、バーデン倶楽部を上手にご利用いただき、すこやかに冬を乗り切りましょう。

バーデン倶楽部 1月のお知らせ

認知症に少しでも不安のある方、どういった運動がよいかわからない方、
「時々、日付を忘れてしまう」「今日会った人の名前が思い出せない」そんな方にごそおススメ

「ものわすれドック」

～斎藤ホテルスタッフ フロント假屋の
「ものわすれドック」体験レポート～

斎藤ホテルスタッフ假屋以外も、10月、11月には時々「ものわすれドック」を開催されています。毎月、定員3名だからこそ、ご自分にあった指導をほぼマンツーマンでもらえる点が、たいへん好評をいただいています。

1日目 どんなことをするのか少し不安だったので、前日のガイダンスで、井出トレーナーから丁寧に説明していただき、検査内容がよくわかりました。「よし、やってみよう！」と不安はなくなりました。

2日目 検査内容は、身体・血圧などの基本測定に始まり、心電図検査、認知機能を調べる神経心理検査のほか、脳の機能を調べるMRI検査などを行いました。いわゆる一般的な脳ドックとは違いましたね。その検査結果をもとに、理学療法士さんや作業療法士さんが、私にあった独自の運動方法などを指導してくださった点がとても良かったです。

病院スタッフの方々の丁寧な対応で、検査だけでなく予防の指導を受けることができました。私と同年代のお客さまにぜひお勧めしたいドックです。
詳しい体験談をお聞きたい方は、フロント假屋へぜひお問い合わせください。

10日⑧ ガイダンス
(斎藤ホテルにて予備確認と説明 17:00～)

11日⑨ (ドック当日)ものわすれドック
(鹿教湯病院にて 8:30～15:00の予定)

12日⑩ ノルディック・ウォークまたは
水中ボールウォーキング
(鹿教湯温泉内を散策またはホテルプール 8:30～1時間程度)

2泊3日から
毎回定員3名のみ！
※ご家族の同行も可能です！

★ドック料金：65,000円(税別)
※宿泊料金は別途かかりますので、事前に斎藤ホテルへお問い合わせください。

★受診対象者は
①概ね50歳以上80歳未満の方
②お1人で来院でき、適度な運動の実践が可能な方

★選抜をお知らせいただくチェックリストの記入が必要です。まずはお電話で資料請求を！

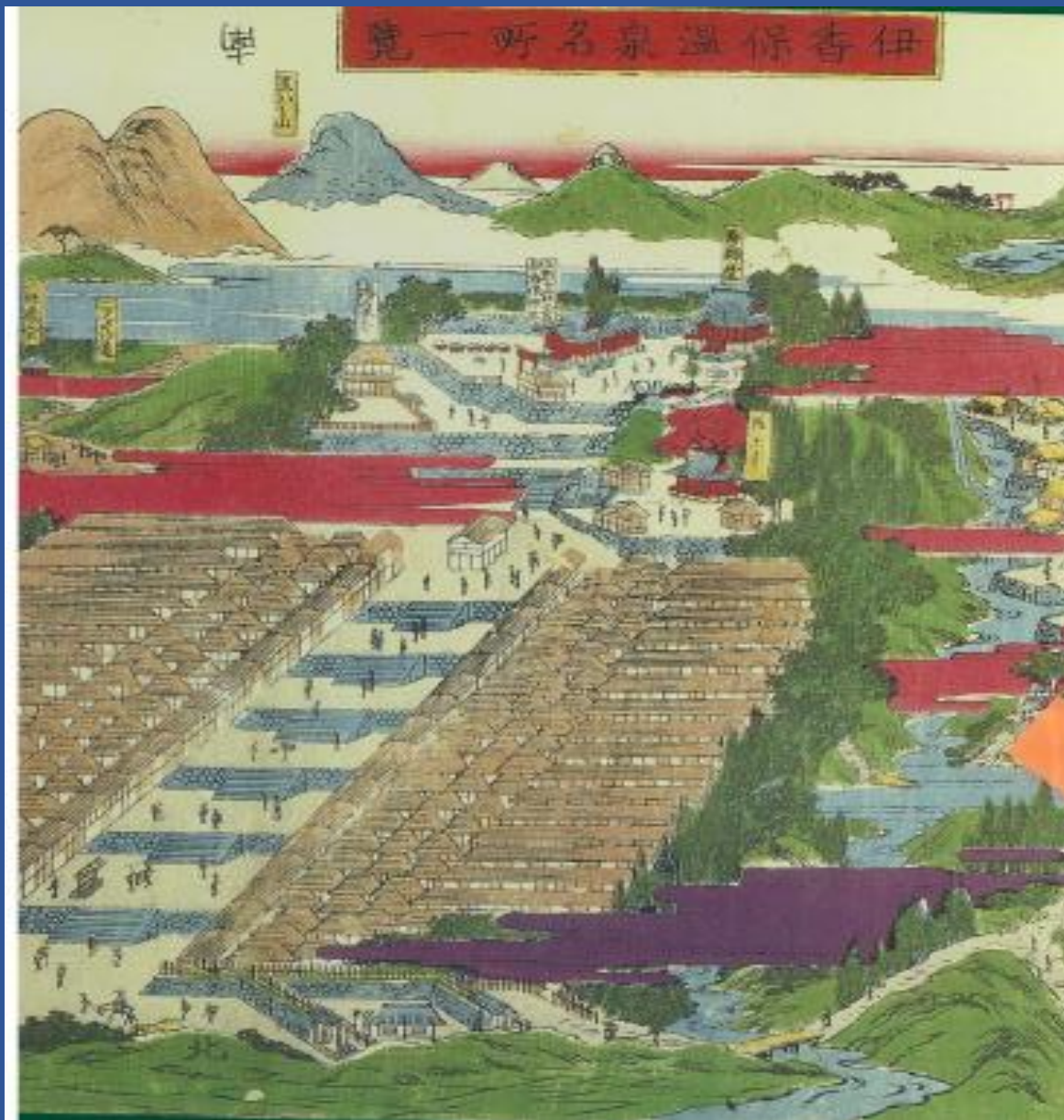
○現代型湯治といわれるものは、単に休むだけでない。

○アクティビティを取り入れたり、その温泉地を拠点として遠方に行くこともあり、滞在するための広域のコンテンツが求められる。

○温泉地での健康づくりは、ツーリズムのみならず「市民の健康づくり」などの効果があり、医療費削減の可能性もある。

鹿教湯温泉（長野県上田市）における「ものわすれドック」による温泉地での健康づくり例。
地域の病院と旅館がタッグを組むことで、高付加価値のコンテンツを提供し、宿泊につなげる。

～温泉街のなりたち～



- 古くからの温泉街には「温泉神社」、「温泉寺」が存在している。
- 参詣をしてから、温泉に入浴するということが伝統
- 温泉は、共同浴場を中心とする外湯に入りに行くことが中心。
- 結果的に、街に人が歩いている状態がうまれた。
- しかし、こういった姿は高度成長経済期に失われてしまった。

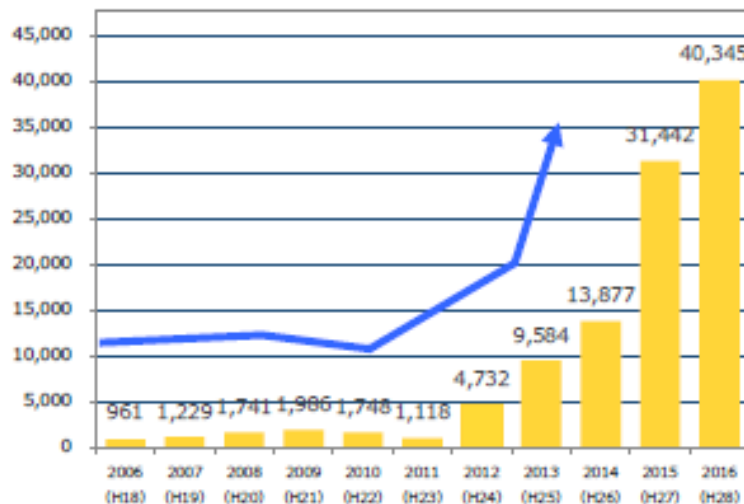
伊香保温泉（伊香保温泉協会）中心に薬師堂が描かれている。



「駅が玄関、通りが廊下、旅館が客室、
外湯が大浴場、商店が売店

城崎に住む者は、皆同じ旅館の従業員
である」

外国人宿泊者数とインバウンド施策



お客様を囲まない、小さな商店にも商売
が成り立ち、街並みが残る。

街をそぞろ歩きする人たちが、地元の人
と一緒に賑わいを生む。

～まとめ 温泉地のにぎわいを目指して～



- 古代から、温泉には動物が集まり、人が集まり、そして輪ができた。
- 温泉地を楽しむのも「人」であり、楽しんでもらおうとするのも「人」
- 「人」と「人」のふれあいの架け橋に、地元の人を育てた「食」「歴史」「自然・気候」を通じ、また人が集まり癒やされる場である温泉に入る。